

堂と会同して恭摺して会奏せる、琉球国王、旨を奉じて員弁を添派して貢使を伴送せらるるに因り、天恩に感激し代謝を懇請するの一摺は、今、嘉慶十九年正月二十九日に硃批を奉到したるに、知道せり、とあり。此れを欽めり。原摺は先に經に抄発したれば、重録を庸うる母きを除くの外、合に就ちに飭行すべし。此れが為に司官吏に仰せて、即便に転行して知照せしむ。仍お琉球貢使の回国の時に、司より詳明して硃批を恭録し、該国王に移咨し、欽遵して查照せしむ、等の因あり。此れを奉けたり。

茲に遣發回国の期に当たり、兩院憲に詳明するを除くの外、合に就ちに移知すべし。此れが為に貴国王に備咨す。請煩ねがわくは查照し、欽遵して施行せられよ、等の因あり。国に到る。此れを准けたり。

茲に本爵、貴司の、兩院に転詳し、情に拠りて酌宜し代わりて題謝を為すを承け、此れ誠に感激すること地無き者なり。理として合に咨謝すべし。此れが為に貴司に備咨す。煩ねがわくは督撫兩院に察照して転謝し施行せられよ。須らく咨に至るべき者なり。

右、福建等处承宣布政使司に咨す

嘉慶十九年（一八一四）八月初七日

注*本文書は「二一五一一」の咨覆である。

（一）貴司の咨「二一五一一」。

2-116-19

国王尚灝の、進貢のため都通事鄭文洙等に付した符文

（嘉慶十九《一八一四》、八、七）

琉球国中山王尚（灝）、進貢せんが事の為にす。

照得したるに、本爵は世々天朝の洪恩に沐し、会典に遵依して二年一貢す。欽遵して案に在り。

茲に嘉慶十九年の進貢の期に当たり、特に耳目官向斌・正議大夫鄭嘉訓・都通事鄭文洙等を遣わし、表章を齎捧し、梢役共に二百員名を過ぎざるを率領し、海船二隻に坐駕し、常貢の煎熟硫黄一万二千六百觔・紅銅三千觔・煉熟白剛錫一千觔を装運し、兩船に分載す。一船の礼字第二百六号は、煎熟硫黄六千三百觔・紅銅一千五百觔・煉熟白剛錫五百觔を装載し、前すみて福建等处承宣布政使司に至りて投納し、起送して京に赴かしめ、聖禧を叩祝せしめんとす。

所有の差去せる員役は、文憑無ければ、各処の官軍の阻留して便ならざるを恐る。此れが為に理として合に王府、礼字第二百五号の半印勘合の符文一道を給發し、都通事鄭文洙等に付し、收執して前去せしむべし。如し経過の関津及び沿海巡哨の官軍の驗実に遇えば、即便に放行し、留難して遅候するを得る母からしめよ。須らく符文に至るべき者なり。

計開

正使耳目官一員 向斌 人伴一十二名

副使正議大夫一員 鄭嘉訓 人伴一十二名

朝京都通事一員 鄭文洙 人伴七名

在船都通事二員⁽¹⁾ 陳有憲 人伴八名

在船使者四員⁽²⁾ 王崇達⁽³⁾ 向永盛⁽⁴⁾ 向邦達⁽⁵⁾ 馬元健 人伴一十六名

存留通事一員 梁文翼 人伴六名

在船通事一員 王士正⁽⁶⁾ 人伴四名

管船火長・直庫四名⁽⁷⁾ 金文貴 善得福

水梢共に一百二十名⁽⁸⁾ 林興泰 保肇基

右、符文は都通事鄭文洙等に付し、此れを准けしむ

嘉慶十九年（一八一四）八月初七日

注（1）陳有憲 乾隆二十九〜道光九年（一七六四〜一八二九）。仲本通

事親雲上、のち宮里親雲上。久米系陳氏（仲本家）十三世。乾

隆五十五年・五十九年に読書習礼のため福建に赴く。嘉慶五年

異国通事、嘉慶十九年進貢頭号船の都通事、道光三年接貢船の

都通事となる。道光元年に久米村の長史となり、同五年正議大夫、

同八年に申口座に陞る。道光七年美里間切宮里村の地頭職に任

ぜられる『家譜（二）』五〇一頁。

（2）王崇達 嘉慶十九年進貢船の在船都通事。『宝案』では他に嘉

慶二十四年の在船都通事（巻一二五）、嘉慶十一年の結状には

中議大夫（巻一〇一）として名がみえる。

（3）向邦達 嘉慶十九年進貢船の在船使者。

（4）武廷棟 嘉慶十九年進貢船の在船使者。『宝案』では他に嘉慶

十一年の在船使者（巻一〇一）として名がみえる。

（5）馬元健 嘉慶十九年の進貢船の在船使者。

（6）王士正 嘉慶十九年の進貢船の在船通事。

（7）金文貴 嘉慶十九年の進貢船の管船火長。

（8）林興泰 嘉慶十九年の進貢船の管船火長。『宝案』では他に道

光八年（一八二八）の進貢船の在船都通事、道光十七年接貢の

在船都通事として名がみえる。

2-116-20

国王尚灝の、進貢のため存留通事梁文翼等に付した執照（頭号船）（嘉慶十九（一八一四）、八、七）

琉球国中山王尚（灝）、進貢せんが事の為にす。

照得したるに、本爵は世々天朝の洪恩に沐し、会典に遵依して

二年一貢す。欽遵して案に在り。

茲に嘉慶十九年の貢期に当たり、特に耳目官向斌・正議大夫鄭嘉訓・都通事鄭文洙等を遣わし、表咨を齎捧し、官伴・水梢共に

二百員名を過ぎざるを率領し、海船二隻に坐駕し、常貢の煎熟硫

黄一万二千六百觔・紅銅三千觔・煉熟白剛錫一千觔を装運し、両

船に分載す。一船の札字第二百六号は煎熟硫黄六千三百觔・紅銅

一千五百觔・煉熟白剛錫五百觔を装載し、一船の札字第二百七号

は煎熟硫黄六千三百觔・紅銅一千五百觔・煉熟白剛錫五百觔を装